

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870300906
法人名	有限会社 エンジェルハウス
事業所名	グループホーム紙ふうせん
所在地	愛媛県宇和島市三間町成家845番地
自己評価作成日	平成22年11月1日～平成22年11月25日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年12月16日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

一人ひとりが安心して暮らせるように、サービスの見直しや計画も、スタッフ、家族と情報提供を行い、要望、希望など聞き、ミーティングやスタッフ会などで話し合いながら支援を行い、又、研修や勉強会などにも取り組み、事故防止や質の向上を目指し、よりよいサービスが出来るよう日々努力している。介護の重度化の見られる方も増加しており、みどりの受け入れにも取り組んでいきたい。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

地元職員の知り合い等から地域との交流の輪を拡げておられ、事業所の夏祭りの際には、婦人会が盆踊りや食べ物作り等のお手伝いをしてくださった。又、近くの保育園との交流をすすめておられ、園児が七夕等に来てくれて一緒にそうめん流しを楽しまれたり、園長が運営推進会議に出席して下さっている。又、保育園の夕涼み会には、職員もかき氷作り等の手伝いをされた。小学生の福祉体験学習で子ども達が来てくれ、玄関前の駐車場で「ミニ運動会」を行った際には、小学校に鉢巻きや道具をお借りして、風船割りや玉入れ等を利用者と一緒に楽しみながら交流された。又、中学生の職場体験等も受け入れておられ、交流した小・中学生からは後日、お礼の手紙をもらい、廊下に掲示されていた。  
「利用者の状態についての申し送り内容が、職員によって情報量が異なる」という、職員からの意見もあったようで、利用者個々について「必要な情報」をピックアップして、それに基づき重点的な情報が必ず申し送れるよう仕組みを作っておられる。又、日々の介護記録も、職員は、その情報に焦点を当てて記録するようになったようである。

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム紙ふうせん

(ユニット名) Aユニット

記入者(管理者)

氏名 松岡 敬子

評価完了日 平成22年 11月 26日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 月1回のスタッフ会議を行い、グループホームの正しい名称など勉強しあったり、紙ふうせんの名前の由来や理念など見直しながら、いつでも初心に戻って現場に立つよう、話し合っている。 (外部評価) 玄関や職員が休憩するスタッフルームに「ま～るい えがお・おもしろい やすらぎ」と事業所の理念を掲げて、職員会議時等に日々の支援を振り返ったり、又、運営推進会議時にもホームの名前の由来等も伝えて、地域の方達にも知ってもらえるよう努めておられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 保育園や小学校への訪問や、ホームへの訪問など行き来したり、ボランティア、婦人会の方達の参加による納涼祭を行ったりして、地域の方々とのつながりを深めながら交流している。 (外部評価) 地元職員の知り合い等から地域との交流の輪を拡げておられ、事業所の夏祭りの際には、婦人会が盆踊りや食べ物作り等のお手伝いをしてくださった。又、近くの保育園との交流をすすめておられ、園児が七夕等に来てくれて一緒にそうめん流しを楽しまれたり、園長が運営推進会議に出席してくださっている。又、保育園の夕涼み会には、職員もかき氷作り等の手伝いをされた。小学生の福祉体験学習で子ども達が来てくれ、玄関前の駐車場で「ミニ運動会」を行った際には、小学校に鉢巻きや道具をお借りして、風船割りや玉入れ等を利用者と一緒に楽しみながら交流された。又、中学生の職場体験等も受け入れておられ、交流した小・中学生からは後日、お礼の手紙をもらい、廊下に掲示されていた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 地域の人からの問い合わせや相談があった時は、分かり易く対応できるよう、全員が連絡を取り合ったり、運営委員会で情報提供したりしながら活かしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 2ヶ月に1回の開催により、出席者と共に情報交換、現状報告等を行いながら話し合い、向上、改善に活かしている。出席者の開拓にも努めていきたい。</p> <p>(外部評価) 「地域とのつながり」を深めていけるような会議に努めておられ、自治会長や地域をよく知るご近所の方等にも会議に出席していただいている。会議時には、参加者の希望を聞いて午後からの開催とされており、行事等、事業所の活動状況報告をして、家族会等の事業所の今後取り組んでいきたいこと等も発表して、ご意見や要望を聞くようにされている。</p>	<p>さらに事業所では、民生委員や老人クラブの方等、会議への出席者を増やしたり、会議時に消防訓練等、実際に会議出席者も事業所の取り組みに参加していただくことを考えておられた。又、事業所では会議時に認知症サポーター講座を行いたいと考えておられ、市の方とも協力しながらすすめていかれてほしい。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 市町村からの要求や依頼に対しては、業務に支障のない範囲で協力させてもらったり、情報提供の場などがあり、協力関係を築くようにしている。民生委員会などへの参加（随時）を希望したい。</p> <p>(外部評価) 地域包括支援センターがすすめる徘徊模擬訓練時に、事業所の職員が認知症の人役になって協力をされた。地域の方達と協力し合って、認知症の人の理解への取り組みをすすめておられる。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 拘束はしていない。その分見守りはスタッフ同士強化している。施設内、居宅には鍵はかかっておらず、自由に行動してもらえるように心掛け、拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> <p>(外部評価) 足元が不安定な方もあり、職員からの提案でベッドに鈴を付けて利用者がベッドから足を下ろすと鳴るようにされていたり、布団の端に鈴を付けている方も見られた。「外に出たい」という利用者には、職員が付き添って散歩されたり畑に出て過ごすようにされている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)  意見箱を設けて、苦情や委員会などミーティングの時に話し合い、虐待防止の徹底に努めている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)  研修を受けた者もいるが、内容の把握は難しいので、参加資料を職員の休憩室に置き、目を通してもらえるよう指導している。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)  入居時に説明し、理解と納得の上で入居してもらっているが、特に問題のある場合には、個別に説明し、同意を得よう図っている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)  面会時など、管理者が対応し、意見、要望の受け入れが出来やすいような環境を作ったり、日々コミュニケーションをしっかりと取れるよう心掛け、苦情、意見などあった場合は、改善に向けて反映させている。  (外部評価)  玄関を入ったところのスペースにテーブルとイスを配しておられ、事業所の行事時の写真等がきれいに整理して置いてあり、ご家族ら来られた時には利用者と一緒に見ながら、お話しも弾むようである。毎月ご家族に送付する請求書には、事業所から衣替え等「持って来てほしいもの」等のお願いを書くようにされており、ご家族は必ず読んで電話をくださったり、来てくださるようである。事業所では「ご家族とのコミュニケーションがあって、利用者ご本人とのかかわりが成り立つ」と考えて、ご家族を大切に思い、ご家族の立場に立って考えていけるように取り組みをすすめておられる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 周1回のミーティングや、月1回のスタッフ会議などで、問題点や要望など話し合いの場を設け、気軽に話が聞ける機会を持つようにして反映させている。問題のある場合は、個人的に話す機会を持つよう努めている。 (外部評価) 「利用者の状態についての申し送り内容が、職員によって情報量が異なる」という、職員からの意見もあったようで、利用者個々について「必要な情報」をピックアップして、それに基づき重点的な情報が必ず申し送れるよう仕組みを作っておられる。又、日々の介護記録も、職員は、その情報に焦点を当てて記録するようになったようである。利用者が使いやすいような食器を職員がお店で探して来られたり、近々行うクリスマス会では、職員で余興をされるよう準備をされていた。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 休憩室などあり、ゆっくり休むことが出来たり、希望休、リフレッシュ休暇など考慮して、職員同士が働きやすいように努めている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修など受ける際は、希望者を優先する一方、研修も一人ばかり行くのではなく、全員が参加出来るよう考慮しながら進めている。自己学習に消極的なスタッフの対応も考えていきたい。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 連絡会などの情報交換や勉強会に参加し交流をはかりながら、ネットワーク作りや、質の向上に取り組んでいる。同業者同士の情報交換にも努めている。	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 入居時や体験入所された時など、きめ細やかなサービスが出来るよう、本人、家族の話をよく聞き、安心が確保出来るよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価)	入所時に話し合う時間を十分取り、施設見学や安心してもらえるような関係作りに努めている。希望者は体験入所の受け入れもしている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)	本人、家族、関係スタッフでゆっくり話しをしながら、しっかりアセスメントを取り、サービスの対応に努めている。他施設への利用なども助言している。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価)	出来るだけ本人のペースを崩さず行動するよう、スタッフに日々指導しながら、共同生活であることも利用者理解してもらえよう話しかけ、お互いが支え合っていく関係を築いていけるよう支援している。	
19		本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価)	面会や外出、外泊など、自由にしてもらい、家族との関係を忘れないようにするために、本人への支援をしながらお互いの関係を築いていけるよう努めている。家族会による協力が得られている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価)	本人が大切にしている物や、思い出のある物は、家族と相談して、ある程度までは自由にしており、手紙や電話の受け入れは自由とし、今までの関係が切れないうよう支援している。	
			(外部評価)		
			ご家族が電話をくださり、ご本人とお話したり、又、ご本人の希望で、職員は、ご家族に電話をかける手伝いをされている。今後、年賀状を出すこと等、ご本人の状態に合わせてかわり、ご家族や知人とのかわりをつないでいく支援も工夫していくことを検討されていた。		

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 日中は、フロアにて過ごすよう心掛け、他の利用者との関わりを大切にしながら、仲間同士お互いが助け合い、支え合って仲良く生活が出来るようスタッフが援助するよう努めている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退所された方より知人の紹介があったり、再入所の申し込みがあったりして、スタッフと家族の方との関係を大切にしていけるよう日々努めている。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 意思表示の出来る方と出来ない方が様々なので、その人の事をしっかり把握できるよう、スタッフ同士情報の交換など密にし、本人をよく知るよう指導している。スタッフを一部担当制にしている。	長く勤務されている職員も多く、職員は、利用者個々のことをよく知っておられるが、さらに、得た情報をまとめて分析するような様式等を工夫して、さらに、ご本人の思いや意向を探っていかれてほしい。さらなる利用者主体の介護計画作成につなげて、ご本人の思いや意向に沿った個別の細やかな支援に努めていかれてほしい。
			(外部評価) 職員は、ご本人の気持ちや希望等を知り得た時には介護記録にとどめるようにされている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入所時のアセスメントを確認しながら、その人の生きてきた生活環境などを面会時の家族の方などから情報収集し、サービスに取り入れていけるよう努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 一人ひとりのバイタルチェック表、受診報告書、介護記録などにより健康状態や、心身状態の変化が分かるよう、スタッフ同士の伝達に努めている。	



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 月1回の全体会議や、何かの問題がある毎に、各ユニットごとのスタッフ会議、面会時の家族と本人などにて話し合いの場を設け、対処法の話し合いなどにより介護計画への作成に反映されている。</p> <p>(外部評価) 介護計画は「ご本人の気持ちとご家族の要望」を反映できるように努めておられる。計画内容をご本人に説明してサインをもらっている方もある。支援内容について、支援出来たか出来なかったか、毎日 ×でチェックされている。計画は、3カ月ごとに見直しをしておられ、行く行くは利用者個々の担当職員が介護計画を立てられるようにしたいと考えておられた。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) 業務改善などで話し合ったり、研修に参加したりしながら、記録の必要性を自覚してもらい、出来るだけ本人の状態が分かるような記録の書き方など努力し、自然の会話や言葉がそのまま書けるよう努めている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 受診時の対応や、その他必要性のある場合は、家族、本人の状態に対応したサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 学校、保育園、地域の方々との交流の場を設け、お互い協力しながら、地域の行事などの参加、ボランティアなどの協力、事業所の開拓に努めている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 協力医とのコミュニケーションもうまく取れており、相談、診察 など安心している。かかりつけ医がある場合は、本人、家族 の意思を重視しながら、緊急対応先なども把握できており、 随時個別に対応しながら支援している。	
			(外部評価) 協力医は、利用者のことをよく知ってくださっており、受診時 には「どのような状態で、どうしたいの」と聞いてくださり、事業 所からの報告や希望・意見を聞いてくださっている。又、利 用者の状態については、電話等でもよく相談をされており、 利用者の状態等も見ながら以前から飲んでる薬を調整し て、ケアでカバーして、状態が良くなったような方もある。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 看護師の有資格者がいるので、相談、助言をしても らったり、協力医の看護師と連絡を取り合ったり、デ イサービスの看護師のアドバイスを受たり、受診が 適切に受けられるよう支援している。	
			(外部評価)	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 入退院の際には、担当医との連絡を、電話やファック スなど利用しながら、指示、助言などの情報交換、相 談など行っている。	
			(外部評価)	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 本人の体調の変化には十分注意しながら、家族、かか りつけ医の指導のもと、スタッフ同士が状況把握を しっかり行いながらチーム支援に取り組んでいる。	現在、事業所では、介護度が重度の利用者も増えてきてい る。これまではご本人の終末期のあり方について、話し合うよ うな機会は少なかったようであるが、ご本人の希望やご家族 の思いをお聞きしたり、事業所の体制作り等についても計画 を立てて、取り組みをすすめていかれてほしい。事業所では 「ご家族が悔いの残らないような支援をすすめていきたい」と 話しておられた。
			(外部評価) これまでに状態が急変して看取られたような事例もあるが、 今後は、ご家族ともゆっくりと話し合いをしながら、心の準備 等をしたり、協力し合って一緒に看取りを支援していきたいと 考えておられる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<p>(自己評価)</p> <p>研修会や自施設での勉強会、ミーティングなどに対応策を話し合ったり、マニュアルによる指導をしながら、また、スタッフルームにも随時掲示したりして実践している。</p>	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<p>(自己評価)</p> <p>防災訓練や緊急連絡網、避難経路など掲示したり、緊急時の役割分担などもスタッフルームに掲示したり、運営委員会にて、地域代表者などにも協力をお願いしている。年に1~2回夜勤体制での訓練を予定している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>消防団の方が来られた際には、消火栓の場所等を教えていただいた。居間からはテラスに出られ、テラスから外に出られるようスロープを作っておられた。避難訓練を行った際には慌てて「通報機の使い方等についても戸惑った」等、課題もあったようである。</p>	<p>事業所は、年に2回の訓練では「次の訓練時には忘れていることも多い」と話しておられた。今後、通報の手順を書いて貼っておくことも考えておられた。又、夜間を想定した訓練を行うことも計画されていた。いろいろな場面や時間を想定して訓練を重ね、利用者・職員の安心・安全に向け、取り組みをすすめていかれてほしい。</p>
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<p>(自己評価)</p> <p>プライバシーや情報など守秘義務に関しては、随時、徹底して繰り返しながら言い聞かせ、携帯電話のメールや、日常の言葉使いにも十分配慮しながら対応していくよう日々指導している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>入居の際は、ご家族と一緒にご本人が来られて、ご本人が「泊まってもいいよ」と言われてから入居に至るようにされており、ご本人の意思を大切に支援しておられる。又、職員の利用者に対する言葉かけは「～しませんか」等、質問型にしてご本人に決めてもらうように努めておられる。利用者個々の呼び方は、ご家族と相談して「ご本人が以前から呼ばれていた呼び方」で呼ぶようにされており、名前でおられる様子も見られた。</p>	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<p>(自己評価)</p> <p>本人の要望など、出来るだけ受け入れ出来るように努め、個々に合った援助内容を計画し、実践出来るよう働きかけている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人ひとりに合わせたペースや、くつろぎ方などに心配りを忘れず、また、利用者同士の会話や交流を自由に行ってもらいその場をゆったりと、スタッフは見守りながら支援している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 理、美容は2ヶ月に1回の割合で希望され、業者と連携しながら行い、洋服などの選択は本人が行ったり、スタッフと一緒に選んだりする時もあり、出来ない部分を支援している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 出来るだけ採れたての物や旬のものを使用するよう心掛け、好み、調理法、味付けなど手伝ってもらったり、教えられたりしながら調理したり、片付け、準備など一緒に行っている。 (外部評価) 利用者は「ご飯作りはいやだけど、お手伝いならいいよ」と職員とジャガイモやゆで卵を剥いてくださったりするようだ。食器は、小さな器を多く用いて「少しずつ多くのもの」を食べてもらえるように作っておられる。肉屋・魚屋が食材を配達してくれたり、畑の野菜等も使って新鮮な野菜を多く採り入れた食事に心がけておられる。調査訪問時は、郷土料理の「たまご寒天」を作っておられ、利用者の方達も馴染みのあるものが食べられるように工夫されている。職員は「利用者が、食べたいと思えるような食事」が作れるように努めておられる。介護用のエプロンは付けず、利用者の手元にはそれぞれにご自分用のティッシュの箱を置いておられ、ご自分で汚れを拭くことができるようにされている。又、職員が「酢物が残ってるよ」等、声をかけながらサポートされていた。退職された職員の方が「むらさき芋羊羹」を作って持って来てくれ、皆でおいしく食べておられた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 本人の状態、習慣などにより、水分、体重、などチェックを行ったりしながら、食事の量や、栄養バランスなど考慮しながらスタッフが調理し、本人からの訴えを受け入れながら支援している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後の口腔ケアを、声掛けや、見守り、一部介助などで行っている。義歯や口腔用品も定期的に洗浄し、夜間は義歯は取り外している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) ポータブルは使用しないで、トイレ誘導を主体に努めている。排泄チェックなど毎日行い、パターン、習慣など考慮、周知し支援している。 (外部評価) 「ポータブルトイレをできるだけ使わず」に、職員がトイレにお連れしてトイレで排泄できるよう、支援に努めておられる。食事前後にトイレに誘ったり、入浴前等にもトイレに行くように声をかけておられる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) バイタルチェックなどを参考にしながら、水分補給、食べ物など注意しながら、出来るだけ自然排便出来るよう取り組んだり、便秘薬の指示をドクターに相談し、対応している。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 本人の希望もあり2日に1回の割合で入浴している。本人の体調状況などにより変更になったり、必要時には毎日入浴に変更になることもあるが、本人の気持ちを主体に支援している。 (外部評価) 利用者は、デイサービスの大きなお風呂に入ることを好まれており、お二人で入ったり、おしゃべりをしてゆっくりされる方もある。調査訪問時、車いすの利用者がひざに着替えを乗せて、浴室に向かっている様子が見られた。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) その時の状況で、色々な場所で自由に休んでもらったり、安心して眠れるために、スタッフがバタバタしないよう、寝る前の雰囲気作りにも気をつけながら支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) スタッフがA、B、Cと確認し、介助する際などにも再度確認するなどして、間違わないようスタッフ同士で確認し合い、変化などあった場合は、何度も間違わないよう注意して行い、かかりつけ医の指示を受けながら支援している。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) その人に合った役割や楽しみ事など、日常の会話の中から見つけ、日常生活に取り入れたりして気分転換の支援をしている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) その時の希望を全て聞き入れる事は出来ないが、年間行事、月間行事を決めたりして、本人の希望する買い物、外食、散歩など出来る範囲で支援している。	
			(外部評価) お花見は職員がお弁当を作り、何度も送迎をして、利用者全員でお花見を楽しめるように支援されている。小学校や保育園の運動会を見学に行ったり、町のコスモスまつりに出かけた。近々、総合公園のイルミネーションを見に夜間に出かけることも予定されていた。ファミリーレストランに外食に出かけることもある。利用者が職員に「一緒に出かけよう」と誘ってくれるようなこともある。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 大きなお金の預かりはお断りしているが、本人が必要とされている小口の現金は事務所で預かっており、必要な時本人に渡したり、代行で買い物をしている。本人には、なくなって支障がない分だけ持たせているが、利用者同士、問題が起らないよう支援している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話は家族の了解された人には、掛けたり、取次いだりしているが、時間だけは決めてもらったり、手紙などは本人に直接渡したり、読んであげたりしながら支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>玄関、食堂などに季節の花を植えたり、飾ったり、窓ガラスなどは特殊な物を使用しており、寒さや、暑さ、湿度、プライバシーの保護などにも工夫している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者は、居間で過ごす時間が多く、調査訪問時にはテーブルを囲んで、かるたをしておられる様子が見えたり、ソファやいすに座って過ごされたり、テラスは広い造りになっており、季節の良い時にはテラスでお茶を楽しまれることも多い。テラスから見える田は地域の方がコスモスを植えておられ秋になると利用者の目を楽しませてくれる。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>共同利用出来る空間には、ソファやテレビ、畳など設置し、利用者同士気軽に過ごせたり、レクリエーションを出来るスペースを工夫している。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>家族と本人の希望される物は、出来るだけ持ち込めるよう受け入れているが、転倒の際などに危険性のある物は、最小限にしてもらい、ケガしないように配慮しながら過ごしやすいよう支援している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室はきれいに掃除をされ、整理されている。誕生日に送ったメッセージの色紙を飾っておられる方もあった。洋服をハンガーにかけておられる方もあった。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>廊下を広くとったり、設置してある手すりを、転倒防止や歩行訓練などに利用しながら、安全に生活が送れるよう工夫している。</p>	